科目ｺｰﾄﾞ	239

科 目 名	在宅看護論実習 (Clinical Practice in Home Care Nursing)			開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数（時間）	２単位（90時間）	履修時期	３年次後期
担当教員	窪田　静、奥田　美惠、(未定)			科目区分	専門科目
実習目的	在宅療養者を生活者として長い時間軸で捉え、自宅・病棟・外来等、様々な療養の場で在宅看護を展開していく必要があることを理解する。				
実習目標	１．訪問看護の参与観察を通して、自宅等における在宅看護について考えることができる。 ２．急性期病院の病棟で展開する在宅看護に焦点をあてた様々な看護活動への参与観察を通して、「長い療養生活を送る人」という視点を持った看護の継続性と、病院における在宅看護について考えることができる。 ３．訪問看護ステーションでの学びと病院での学びを共有・統合し、様々な療養の場における在宅看護について理解することができる。 （実習要項参照）				

実　習　内　容
１　実習場所：松山市周辺の訪問看護ステーション、松山赤十字病院 ２　実習期間：２週間、実習時間：概ね 8:30～17:30（実習施設により異なる） ３　実習展開：詳細は実習要綱を参照

成 績 評 価 方 法	実習評価表の項目について実習内容を点数化し、課題レポートと合わせて評価する
教科書	《在宅看護論・地域ケアマネジメント論にて使用した教科書や資料》 「～在宅医療をはじめる方へ ～訪問看護活用ガイド在宅医療テキスト」(在宅医療助成勇美記念財団)、宇都宮宏子・山田雅子「看護がつながる在宅療養移行支援 病院・在宅　の患者像別看護ケアのマネジメント」（日本看護協会出版会）など
参考図書等	宇都宮宏子・三輪恭子「これからの退院支援・退院調整:ジェネラリストナースがつなぐ外来・病棟・地域」日本看護協会出版会 様々な社会資源や介護保険・医療保険・障害者総合支援法などについての教科書・参考書・文献
備　　考	

看護学科